



平成 20 年 6 月 27 日

各 位

上場会社名 日本精密株式会社
(JASDAQ コード番号 : 7771)
代表者名 代表取締役社長 岡林 博
問合わせ先 専務取締役 金 昌明
(TEL (048)225-5311)

(訂正・数値データ訂正あり)「平成 20 年 3 月期 決算短信」の
一部訂正について

平成 20 年 5 月 23 日に発表いたしました「平成 20 年 3 月期 決算短信」の一部に訂正すべき事項がありましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容

(1) サマリー情報の内容の訂正

(1 頁) 3. 21 年 3 月期の連結業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

(2 頁) 2. 21 年 3 月期の個別業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

(2) 4 連結財務諸表の内容の訂正

(15 頁) (5) 継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況

(23 頁) (7) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更
(表示方法の変更)

(37 頁) (8) 連結財務諸表に関する注記事項 (関連当事者との取引)

(47 頁) (8) 連結財務諸表に関する注記事項 (重要な後発事象)

(3) 5 個別財務諸表の内容の訂正

(55 頁) (3) 株主資本等変動計算書

(64 頁) (7) 個別財務諸表に関する注記事項 (貸借対照表関係)

(72 頁) (7) 個別財務諸表に関する注記事項 (重要な後発事象)

2. 訂正箇所（訂正箇所は下線で表示しております）

(1) サマリー情報

(1頁) 3. 21年3月期の連結業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

【訂正前】

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	2,514	63.8	43		21		17		1	63
通期	5,346	34.3	232		187		181		16	48

【訂正後】

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	2,514	63.8	43		21		17		1	69
通期	5,346	34.3	232		187		181		17	14

(2頁) 2. 21年3月期の個別業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

【訂正前】

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期累計期間	1,644	25.5	18		9		27		2	49
通期	3,407	17.8	21		37		141		12	90

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

なお、平成21年3月期の連結及び個別業績予想の1株当たり当期純利益につきましては、平成20年5月26日に払込予定であります第三者割当による新株式発行分（1,500,000株）を反映した期中平均株式数により算出しております。

【訂正後】

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期累計期間	1,644	25.5	18		9		27		2	59
通期	3,407	17.8	21		37		141		13	41

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

なお、平成21年3月期の連結及び個別業績予想の1株当たり当期純利益につきましては、平成20年6月25日に払込予定であります第三者割当による新株式発行分（1,000,000株）を反映した期中平均株式数により算出しております。

(2) 4 連結財務諸表

(15 頁) (5) 継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況

【訂正前】

前連結会計年度 (自 平成18年 4月 1日 至 平成19年 3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年 4月 1日 至 平成20年 3月31日)
<p style="text-align: center;">(省略)</p> <p>しかしながら、損益状況は改善したとはいえ、継続して当期純損失を計上しており、有利子負債は手元流動性に比して依然として高水準にあります。</p> <p>すなわち、短期借入金390,000千円、1年以内返済予定長期借入金372,868千円、1年以内償還予定社債160,000千円の支払等が見込まれています。</p> <p>このような状況下において、今後の資金調達如何によっては当社グループの継続企業の前提に重要な疑義があります。</p> <p style="text-align: center;">(省略)</p>	<p style="text-align: center;">(省略)</p> <p>損益面では、村井を子会社としましたが当該子会社の当会計年度の営業損失は67,453千円となり、既存メガネ部門では国内大手メーカーのメガネ事業の終了等により売上の大幅な減少となり、当社グループの営業損失は176,711千円(前連結会計年度は営業利益218,722千円)となりました。この業績を受けて、当社・ニッセイベトナム・村井とそれぞれ固定資産の減損処理を行い減損損失として432,859千円の計上と、また子会社株式売却による損失100,000千円等を特別損失として計上しました。経常損失は190,144千円(前連結会計年度は経常利益66,861千円)、当期純損失は735,130千円(前連結会計年度は当期純損失218,722千円)となりました。このような状況下において、今後の資金調達如何によっては当社グループには継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。</p> <p style="text-align: center;">(省略)</p>

【訂正後】

前連結会計年度 (自 平成18年 4月 1日 至 平成19年 3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年 4月 1日 至 平成20年 3月31日)
<p style="text-align: center;">(省略)</p> <p>しかしながら、損益状況は改善したとはいえ、継続して当期純損失を計上しており、有利子負債は手元流動性に比して依然として高水準にあります。</p> <p>すなわち、短期借入金390,000千円、1年以内返済予定長期借入金372,868千円、1年以内償還予定社債160,000千円の支払等が見込まれています。</p> <p>このような状況下において、今後の資金調達如何によっては当社グループの継続企業の前提に重要な疑義があります。</p> <p style="text-align: center;">(省略)</p>	<p style="text-align: center;">(省略)</p> <p>損益面では、村井を子会社としましたが当該子会社の当会計年度の営業損失は67,453千円となり、既存メガネ部門では国内大手メーカーのメガネ事業の終了等により売上の大幅な減少となり、当社グループの営業損失は176,711千円(前連結会計年度は営業利益105,416千円)となりました。この業績を受けて、当社・ニッセイベトナム・村井とそれぞれ固定資産の減損処理を行い減損損失として432,859千円の計上と、また子会社株式売却による損失100,000千円等を特別損失として計上しました。経常損失は190,144千円(前連結会計年度は経常利益66,861千円)、当期純損失は735,130千円(前連結会計年度は当期純損失218,722千円)となりました。このような状況下において、今後の資金調達如何によっては当社グループには継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。</p> <p style="text-align: center;">(省略)</p>

(23 頁) (7) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更
(表示方法の変更)

【変更前】

前連結会計年度 (自 平成18年 4月 1日 至 平成19年 3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年 4月 1日 至 平成20年 3月31日)
<p>(連結貸借対照表)</p> <p>「立替金」は前連結会計年度末において、流動資産の「その他」に含めて表示しておりましたが、当連結会計年度末において総資産額の100分の5を超えたため、区分掲記しております。</p> <p>なお、前連結会計年度末の「立替金」の金額は8,131千円であります。</p>	<p>(連結貸借対照表)</p> <p>「敷金・保証金」は前連結会計年度末において、流動資産の「その他」に含めて表示しておりましたが、当連結会計年度末において総資産額の100分の5を超えたため、区分掲記しております。</p> <p>なお、前連結会計年度末の「敷金・保証金」の金額は17,647千円であります。</p>

【変更後】

前連結会計年度 (自 平成18年 4月 1日 至 平成19年 3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年 4月 1日 至 平成20年 3月31日)
<p>(連結貸借対照表)</p> <p>「立替金」は前連結会計年度末において、流動資産の「その他」に含めて表示しておりましたが、当連結会計年度末において総資産額の100分の5を超えたため、区分掲記しております。</p> <p>なお、前連結会計年度末の「立替金」の金額は8,131千円であります。</p>	<p>(連結貸借対照表)</p> <p>「敷金・保証金」は前連結会計年度末において、<u>投資その他の資産</u>の「その他」に含めて表示しておりましたが、当連結会計年度末において総資産額の100分の5を超えたため、区分掲記しております。</p> <p>なお、前連結会計年度末の「敷金・保証金」の金額は17,647千円であります。</p>

(37 頁) (8) 連結財務諸表に関する注記事項 (関連当事者との取引)
 【訂正前】

当連結会計年度(自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)

1 親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称	住所	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権の所有(被所有)割合(%)	関係内容		取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
						役員の兼任等	事業上の関係				
主要株主(会社等)	M&FC Co., Ltd.	Korea	8,442 百万ウォン	合成皮革製造業販売	被所有 直接17.2	役員兼任 2 名		資金の借入	450,000	短期借入金	332,948
主要株主(会社等)	GNCO Co., Ltd.	Korea	4,650 百万ウォン	アパレル製造業販売	被所有 直接31.3			資金の借入	382,000	短期借入金	382,000

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

借入利率等は市場金利を勘案して決定しております。

(省略)

【訂正後】

当連結会計年度(自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)

1 親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称	住所	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権の所有(被所有)割合(%)	関係内容		取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
						役員の兼任等	事業上の関係				
主要株主(会社等)	M&FC Co., Ltd.	Korea	8,442 百万ウォン	合成皮革製造業販売	被所有 直接12.4	役員兼任 2 名		資金の借入	620,000	短期借入金	332,948
主要株主(会社等)	GNCO Co., Ltd.	Korea	4,650 百万ウォン	アパレル製造業販売	被所有 直接31.3			資金の借入	382,000	短期借入金	382,000

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

借入利率等は市場金利を勘案して決定しております。

(省略)

(47頁) (8) 連結財務諸表に関する注記事項 (重要な後発事象)
【訂正前】

前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)																																								
<p>1 当社は、平成19年5月1日の取締役会決議に基づき、同日に株式会社宝屋の全株式を無償で取得すると共に、第三者割当増資を引受け経常運転資金として100,000千円の出資を行い、当該会社を100%子会社としました。</p> <p>株式会社宝屋の事業内容及び規模は次のとおりであります。出資された100,000千円は、同日において株式会社宝屋がプラコム株式会社に振り出した期日前手形の買戻し資金として使用されました。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">事業内容</td> <td style="text-align: right;">日曜雑貨・化粧品の販売</td> </tr> <tr> <td>規模(平成18年12月31日現在)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td style="text-align: right;">931,967千円</td> </tr> <tr> <td>経常損失</td> <td style="text-align: right;">29,293千円</td> </tr> <tr> <td>当期損失</td> <td style="text-align: right;">32,528千円</td> </tr> <tr> <td>総資産</td> <td style="text-align: right;">367,404千円</td> </tr> <tr> <td>資本金</td> <td style="text-align: right;">12,800千円</td> </tr> <tr> <td>純資産</td> <td style="text-align: right;">222,369千円</td> </tr> </table> <p>なお、株式会社宝屋の最大債権者は、当社の主要株主篠邊貞道氏が議決権の92.5%を直接所有するプラコム株式会社であります。プラコム株式会社は平成19年6月29日付で東京地方裁判所に対し、民事再生手続開始の申立てを行っています。</p> <p>債務超過会社株式の取得及び当該会社への出資の理由は、昨年買収したグラフトン製品の開発と拡販の為であります。初年度より黒字化の予定であります。黒字化が達成できない場合、多額の株式評価損等が発生する可能性があります。</p> <p>2 株式会社村井は民事再生申請中でありましたが、平成19年6月19日の債権者集会において、再生計画案が可決されました。</p> <p>当社は再生スポンサー契約に基づき、当社とのシナジー効果を上げるとともに民事再生認可後の再建を確実なものにしてまいります</p>	事業内容	日曜雑貨・化粧品の販売	規模(平成18年12月31日現在)		売上高	931,967千円	経常損失	29,293千円	当期損失	32,528千円	総資産	367,404千円	資本金	12,800千円	純資産	222,369千円	<p>当社は、平成20年5月9日の取締役会におきまして、<u>第三者割当増資を決議いたしました。平成20年5月26日を払込期日としております。なお、割当先から株券不所持の申し出を受ける予定ですので、新株券は交付いたしません。</u></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">(1)発行新株式数</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">普通株式数</td> <td style="text-align: right;">1,500,000株</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(2)発行価額</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">100円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(3)発行価額の総額</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">150,000,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(4)資本組入額</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">50円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(5)資本組入額の総額</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">75,000,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(6)資金の用途</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">社債(私募債)の償還、金融機関借入金の返済</td> </tr> </table>	(1)発行新株式数		普通株式数	1,500,000株	(2)発行価額			100円	(3)発行価額の総額			150,000,000円	(4)資本組入額			50円	(5)資本組入額の総額			75,000,000円	(6)資金の用途			社債(私募債)の償還、金融機関借入金の返済
事業内容	日曜雑貨・化粧品の販売																																								
規模(平成18年12月31日現在)																																									
売上高	931,967千円																																								
経常損失	29,293千円																																								
当期損失	32,528千円																																								
総資産	367,404千円																																								
資本金	12,800千円																																								
純資産	222,369千円																																								
(1)発行新株式数																																									
普通株式数	1,500,000株																																								
(2)発行価額																																									
	100円																																								
(3)発行価額の総額																																									
	150,000,000円																																								
(4)資本組入額																																									
	50円																																								
(5)資本組入額の総額																																									
	75,000,000円																																								
(6)資金の用途																																									
	社債(私募債)の償還、金融機関借入金の返済																																								

【訂正後】

前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)														
<p>1 当社は、平成19年5月1日の取締役会決議に基づき、同日に株式会社宝屋の全株式を無償で取得すると共に、第三者割当増資を引受け経常運転資金として100,000千円の出資を行い、当該会社を100%子会社としました。</p> <p>株式会社宝屋の事業内容及び規模は次のとおりであります。出資された100,000千円は、同日において株式会社宝屋がプラコム株式会社に振り出した期日前手形の買戻し資金として使用されました。</p> <p>事業内容 日曜雑貨・化粧品の販売 規模(平成18年12月31日現在)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">売上高</td> <td style="text-align: right;">931,967千円</td> </tr> <tr> <td>経常損失</td> <td style="text-align: right;">29,293千円</td> </tr> <tr> <td>当期損失</td> <td style="text-align: right;">32,528千円</td> </tr> <tr> <td>総資産</td> <td style="text-align: right;">367,404千円</td> </tr> <tr> <td>資本金</td> <td style="text-align: right;">12,800千円</td> </tr> <tr> <td>純資産</td> <td style="text-align: right;">222,369千円</td> </tr> </table> <p>なお、株式会社宝屋の最大債権者は、当社の主要株主篠邊貞道氏が議決権の92.5%を直接所有するプラコム株式会社であります。プラコム株式会社は平成19年6月29日付で東京地方裁判所に対し、民事再生手続開始の申立てを行っています。</p> <p>債務超過会社株式の取得及び当該会社への出資の理由は、昨年買収したグラフトン製品の開発と拡販の為であります。初年度より黒字化の予定ですが、黒字化が達成できない場合、多額の株式評価損等が発生する可能性があります。</p> <p>2 株式会社村井は民事再生申請中でありましたが、平成19年6月19日の債権者集会において、再生計画案が可決されました。</p> <p>当社は再生スポンサー契約に基づき、当社とのシナジー効果を上げるとともに民事再生認可後の再建を確実なものにしてまいります。</p>	売上高	931,967千円	経常損失	29,293千円	当期損失	32,528千円	総資産	367,404千円	資本金	12,800千円	純資産	222,369千円	<p>当社は、平成20年5月9日に決議した第三者割当による新株式発行について、発行予定株式数の全てについて払込期日である平成20年5月26日までに払込がなかったため、募集株式を発行しないことになりましたが、その後、次のとおり決議いたしました。</p> <p>当社は、平成20年6月9日の取締役会におきまして、第三者割当増資を決議し、平成20年6月25日に払込は完了しております。なお、割当先から株券不所持の申し出があり、新株券は交付しておりません。本件新規発行は、平成20年5月27日付で、SKS Trading USA, Inc.と締結した金銭消費貸借契約に基づく当社に対する金銭債権 金100,000,000円の現物出資を対価として行ったものであり、現金による払い込みはありません。</p> <p>(1)発行新株式数</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%; text-align: right;">普通株式数</td> <td style="text-align: right;">1,000,000株</td> </tr> </table> <p>(2)発行価額 100円</p> <p>(3)発行価額の総額 100,000,000円</p> <p>(4)資本組入額 50円</p> <p>(5)資本組入額の総額 50,000,000円</p> <p>(6)資金の使途</p> <p style="text-align: center;">社債(私募債)の償還、金融機関借入金の返済</p>	普通株式数	1,000,000株
売上高	931,967千円														
経常損失	29,293千円														
当期損失	32,528千円														
総資産	367,404千円														
資本金	12,800千円														
純資産	222,369千円														
普通株式数	1,000,000株														

(3) 5 個別財務諸表

(55頁) (3) 株主資本等変動計算書

当事業年度(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)

【訂正前】

項目	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他 資本剰余 金	利益準備金	その他 利益剰余 金 (注)		
平成19年3月31日残高(千円)	1,070,876	1,052,814	1,166	40,460	1,297,900	40,110	827,305
当事業年度中の変動額							
新株の発行(第三者割当増資)	300,000	300,000					600,000
新株の発行(新株予約権の行使)							
当期純損失					617,780		617,780
自己株式の処分							
新株予約権の発行							
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額(純額)							
当事業年度中の変動額合計(千円)	300,000	300,000			617,780		17,780
平成20年3月31日残高(千円)	1,370,876	1,352,814	1,166	40,460	1,915,681	40,110	809,524

項目	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日残高(千円)	723	723	1,980	828,562
当事業年度中の変動額				
新株の発行(第三者割当増資)				600,000
新株の発行(新株予約権の行使)			15,000	15,000
当期純損失				617,780
自己株式の処分				
新株予約権の発行				
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額(純額)	5,809	5,809	1,570	4,239
当事業年度中の変動額合計(千円)	5,809	5,809	13,430	1,458
平成20年3月31日残高(千円)	5,085	5,085	15,410	830,020

(注) その他利益剰余金の内訳

項目	別途積立金	繰越利益剰余金	合計
平成19年3月31日残高(千円)	368,000	1,665,900	1,297,900
当事業年度中の変動額			
当期純損失		617,780	617,780
当事業年度中の変動額合計(千円)			
平成20年3月31日残高(千円)	368,000	2,283,680	1,915,681

【訂正後】

項目	株主資本						自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				
		資本準備金	その他 資本剰余 金	利益準備金	その他 利益剰余 金 (注)			
平成19年3月31日残高(千円)	1,070,876	1,052,814	1,166	40,460	1,297,900	40,110	827,305	
当事業年度中の変動額								
新株の発行(第三者割当増資)								
新株の発行(新株予約権の行使)	300,000	300,000					600,000	
当期純損失					617,780		617,780	
自己株式の処分								
新株予約権の発行								
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額(純額)								
当事業年度中の変動額合計(千円)	300,000	300,000			617,780		17,780	
平成20年3月31日残高(千円)	1,370,876	1,352,814	1,166	40,460	1,915,681	40,110	809,524	

項目	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日残高(千円)	723	723	1,980	828,562
当事業年度中の変動額				
新株の発行(第三者割当増資)				
新株の発行(新株予約権の行使)			15,000	615,000
当期純損失				617,780
自己株式の処分				
新株予約権の発行				
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額(純額)	5,809	5,809	1,570	4,239
当事業年度中の変動額合計(千円)	5,809	5,809	13,430	1,458
平成20年3月31日残高(千円)	5,085	5,085	15,410	830,020

(注) その他利益剰余金の内訳

項目	別途積立金	繰越利益剰余金	合計
平成19年3月31日残高(千円)	368,000	1,665,900	1,297,900
当事業年度中の変動額			
当期純損失		617,780	617,780
当事業年度中の変動額合計(千円)			
平成20年3月31日残高(千円)	368,000	2,283,680	1,915,681

(64 頁) (7) 個別財務諸表に関する注記事項 (貸借対照表関係)

【訂正前】

前事業年度 (平成19年 3月31日)	当事業年度 (平成20年 3月31日)												
(省略)	(省略)												
<p>5 当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行 1 行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>当座貸越極度額</td> <td>100,000千円</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td>100,000 "</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td>"</td> </tr> </table>	当座貸越極度額	100,000千円	借入実行残高	100,000 "	差引額	"	<p>5 当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行 1 行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>当座貸越極度額</td> <td>100,000千円</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td>30,000 "</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td>70,000 "</td> </tr> </table>	当座貸越極度額	100,000千円	借入実行残高	30,000 "	差引額	70,000 "
当座貸越極度額	100,000千円												
借入実行残高	100,000 "												
差引額	"												
当座貸越極度額	100,000千円												
借入実行残高	30,000 "												
差引額	70,000 "												

【訂正後】

前事業年度 (平成19年 3月31日)	当事業年度 (平成20年 3月31日)												
(省略)	(省略)												
<p>5 当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行 1 行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく当事業年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>当座貸越極度額</td> <td>100,000千円</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td>100,000 "</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td>"</td> </tr> </table>	当座貸越極度額	100,000千円	借入実行残高	100,000 "	差引額	"	<p>5 当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行 1 行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく当事業年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>当座貸越極度額</td> <td>100,000千円</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td>30,000 "</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td>70,000 "</td> </tr> </table>	当座貸越極度額	100,000千円	借入実行残高	30,000 "	差引額	70,000 "
当座貸越極度額	100,000千円												
借入実行残高	100,000 "												
差引額	"												
当座貸越極度額	100,000千円												
借入実行残高	30,000 "												
差引額	70,000 "												

(72頁) (7) 個別財務諸表に関する注記事項 (重要な後発事象)
【訂正前】

前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)																																								
<p>1 当社は、平成19年5月1日の取締役会決議に基づき、同日に株式会社宝屋の全株式を無償で取得すると共に、第三者割当増資を引受け経常運転資金として100,000千円の出資を行い、当該会社を100%子会社としました。</p> <p>株式会社宝屋の事業内容及び規模は次のとおりであります。出資された100,000千円は、同日において株式会社宝屋がプラコム株式会社に振り出した期日前手形の買戻し資金として使用されました。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">事業内容</td> <td style="text-align: center;">日曜雑貨・化粧品の販売</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">規模(平成18年12月31日現在)</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td style="text-align: right;">931,967千円</td> </tr> <tr> <td>経常損失</td> <td style="text-align: right;">29,293千円</td> </tr> <tr> <td>当期損失</td> <td style="text-align: right;">32,528千円</td> </tr> <tr> <td>総資産</td> <td style="text-align: right;">367,404千円</td> </tr> <tr> <td>資本金</td> <td style="text-align: right;">12,800千円</td> </tr> <tr> <td>純資産</td> <td style="text-align: right;">222,369千円</td> </tr> </table> <p>なお、株式会社宝屋の最大債権者は、当社の主要株主篠邊貞道氏が議決権の92.5%を直接所有するプラコム株式会社であります。プラコム株式会社は平成19年6月29日付で東京地方裁判所に対し、民事再生手続開始の申立てを行っています。</p> <p>債務超過会社株式の取得及び当該会社への出資の理由は、昨年買収したグラフトン製品の開発と拡販の為であります。初年度より黒字化の予定であります。黒字化が達成できない場合は、多額の株式評価損等が発生する可能性があります。</p> <p>2 株式会社村井は民事再生申請中でありましたが、平成19年6月19日の債権者集会において、再生計画案が可決されました。</p> <p>当社は再生スポンサー契約に基づき、当社とのシナジー効果を上げるとともに民事再生認可後の再建を確実なものにしてまいります。</p>	事業内容	日曜雑貨・化粧品の販売	規模(平成18年12月31日現在)		売上高	931,967千円	経常損失	29,293千円	当期損失	32,528千円	総資産	367,404千円	資本金	12,800千円	純資産	222,369千円	<p>当社は、平成20年5月9日の取締役会におきまして、<u>第三者割当増資を決議いたしました。平成20年5月26日を払込期日としております。なお、割当先から株券不所持の申し出を受ける予定ですので、新株券は交付いたしません。</u></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">(1)発行新株式数</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">普通株式数</td> <td style="text-align: right;">1,500,000株</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(2)発行価額</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">100円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(3)発行価額の総額</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">150,000,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(4)資本組入額</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">50円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(5)資本組入額の総額</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">75,000,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(6)資金の用途</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">社債(私募債)の償還、金融機関借入金の返済</td> </tr> </table>	(1)発行新株式数		普通株式数	1,500,000株	(2)発行価額			100円	(3)発行価額の総額			150,000,000円	(4)資本組入額			50円	(5)資本組入額の総額			75,000,000円	(6)資金の用途			社債(私募債)の償還、金融機関借入金の返済
事業内容	日曜雑貨・化粧品の販売																																								
規模(平成18年12月31日現在)																																									
売上高	931,967千円																																								
経常損失	29,293千円																																								
当期損失	32,528千円																																								
総資産	367,404千円																																								
資本金	12,800千円																																								
純資産	222,369千円																																								
(1)発行新株式数																																									
普通株式数	1,500,000株																																								
(2)発行価額																																									
	100円																																								
(3)発行価額の総額																																									
	150,000,000円																																								
(4)資本組入額																																									
	50円																																								
(5)資本組入額の総額																																									
	75,000,000円																																								
(6)資金の用途																																									
	社債(私募債)の償還、金融機関借入金の返済																																								

【訂正後】

前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	当事業年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)																																
<p>1 当社は、平成19年5月1日の取締役会決議に基づき、同日に株式会社宝屋の全株式を無償で取得すると共に、第三者割当増資を引受け経常運転資金として100,000千円の出資を行い、当該会社を100%子会社としました。</p> <p>株式会社宝屋の事業内容及び規模は次のとおりであります。出資された100,000千円は、同日において株式会社宝屋がプラコム株式会社に振り出した期日前手形の買戻し資金として使用されました。</p> <table border="0"><tr><td>事業内容</td><td>日曜雑貨・化粧品の販売</td></tr><tr><td>規模(平成18年12月31日現在)</td><td></td></tr><tr><td>売上高</td><td>931,967千円</td></tr><tr><td>経常損失</td><td>29,293千円</td></tr><tr><td>当期損失</td><td>32,528千円</td></tr><tr><td>総資産</td><td>367,404千円</td></tr><tr><td>資本金</td><td>12,800千円</td></tr><tr><td>純資産</td><td>222,369千円</td></tr></table> <p>なお、株式会社宝屋の最大債権者は、当社の主要株主篠邊貞道氏が議決権の92.5%を直接所有するプラコム株式会社であります。プラコム株式会社は平成19年6月29日付で東京地方裁判所に対し、民事再生手続開始の申立てを行っています。</p> <p>債務超過会社株式の取得及び当該会社への出資の理由は、昨年買収したグラフトン製品の開発と拡販の為であります。初年度より黒字化の予定であります。黒字化が達成できない場合は、多額の株式評価損等が発生する可能性があります。</p> <p>2 株式会社村井は民事再生申請中でありましたが、平成19年6月19日の債権者集会において、再生計画案が可決されました。</p> <p>当社は再生スポンサー契約に基づき、当社とのシナジー効果を上げるとともに民事再生認可後の再建を確実なものにしてまいります。</p>	事業内容	日曜雑貨・化粧品の販売	規模(平成18年12月31日現在)		売上高	931,967千円	経常損失	29,293千円	当期損失	32,528千円	総資産	367,404千円	資本金	12,800千円	純資産	222,369千円	<p>当社は、平成20年5月9日に決議した第三者割当による新株式発行について、発行予定株式数の全てについて払込期日である平成20年5月26日までに払込がなかったため、募集株式を発行しないことになりましたが、その後、次のとおり決議いたしました。</p> <p>当社は、平成20年6月9日の取締役会におきまして、第三者割当増資を決議し、平成20年6月25日に払込は完了しております。なお、割当先から株券不所持の申し出があり、新株券は交付しておりません。本件新規発行は、平成20年5月27日付で、SKS Trading USA, Inc. と締結した金銭消費貸借契約に基づく当社に対する金銭債権 金100,000,000円の現物出資を対価として行ったものであり、現金による払い込みはありません。</p> <table border="0"><tr><td>(1)発行新株式数</td><td></td></tr><tr><td> 普通株式数</td><td><u>1,000,000株</u></td></tr><tr><td>(2)発行価額</td><td>100円</td></tr><tr><td>(3)発行価額の総額</td><td><u>100,000,000円</u></td></tr><tr><td>(4)資本組入額</td><td>50円</td></tr><tr><td>(5)資本組入額の総額</td><td><u>50,000,000円</u></td></tr><tr><td>(6)資金の使途</td><td></td></tr><tr><td> 社債(私募債)の償還、金融機関借入金の返済</td><td></td></tr></table>	(1)発行新株式数		普通株式数	<u>1,000,000株</u>	(2)発行価額	100円	(3)発行価額の総額	<u>100,000,000円</u>	(4)資本組入額	50円	(5)資本組入額の総額	<u>50,000,000円</u>	(6)資金の使途		社債(私募債)の償還、金融機関借入金の返済	
事業内容	日曜雑貨・化粧品の販売																																
規模(平成18年12月31日現在)																																	
売上高	931,967千円																																
経常損失	29,293千円																																
当期損失	32,528千円																																
総資産	367,404千円																																
資本金	12,800千円																																
純資産	222,369千円																																
(1)発行新株式数																																	
普通株式数	<u>1,000,000株</u>																																
(2)発行価額	100円																																
(3)発行価額の総額	<u>100,000,000円</u>																																
(4)資本組入額	50円																																
(5)資本組入額の総額	<u>50,000,000円</u>																																
(6)資金の使途																																	
社債(私募債)の償還、金融機関借入金の返済																																	

以 上